

香川県議会議長 五所野尾 恭一様  
香川県議会各会派御中

2017 年 7 月 31 日  
日本共産党香川県議団  
団 長 檜 昭二  
幹事長 白川 容子

### 香川県議会の海外視察即刻中止を求める申し入れ書

これまで日本共産党議員団は、再三にわたって「税金のムダ遣い」の議員の海外視察についてやめるよう、申し入れや本会議での討論・質疑を行ってきました。しかし、議会内でまともな議論にもならず、議会改革検討の議題にも上らない状況が続いてきました。

今回、テレビ番組で視察の一部が赤裸々に放映され、香川県議会の海外視察の内容がここまでひどかったのかとの思いが、県内にとどまらず全国に広がり、議会や県庁には抗議の声が殺到しています。

これまで海外視察の中身は県民にも、私たち議員団にも知らされず派遣が進められてきました。視察内容を県政のどこにどう生かすのか、生かされたのか、予算・決算はいくらなのかすら県民にはわからない状況が続いてきました。また、議会の議決を求められるものでありながら、議決された派遣の議案が議会のホームページにも全く掲載もされていません。

議員の視察には年間 6000 万円もの予算が付けられ、県民が収めた大切な税金の使い道として、本当にふさわしいのかが問われています。

派遣に賛成をした議員にもその責任があります。詳しい旅程も、その目的も、費用もわからないまま提案された議案に賛成するなど言語道断です。

日本共産党議員団は今回の海外視察に対して抗議し、緊急に以下 5 点を求めます。

1. 年間 6000 万円もの議員の海外視察を即刻中止すること
2. 今回報道された海外視察費用を返還すること
3. 議会として今回の視察内容が実際どうであったのか、その検証を行うこと
4. 今回も含め、これまでの議員の海外視察の詳しい行程表や報告書、決算書を議会ホームページなどに公開すること。
5. 「議会改革検討委員会」を再開し、議員の海外視察について中止の方向で議論を行うこと